

# コンベンションぬまづ及びキラメッセぬまづの指定管理業務評価結果について

平成 29 年 1 月 20 日

静岡県文化・観光部観光政策課

沼津市産業振興部観光交流課

## 1 評価の趣旨

静岡県及び沼津市では、指定管理者制度を導入した静岡県会議場施設「コンベンションぬまづ」及び沼津市多目的展示イベント施設「キラメッセぬまづ」における指定管理者の管理運営状況について、学識経験者やコンベンション業界及びMICE誘致に関し識見を有する者等からなるプラサヴェルデ評価懇話会委員による第三者の視点から評価を実施した。

平成 27 年度事業の評価結果については以下のとおりであり、今後の指定管理業務の改善に活用していく。

## 2 指定管理

### (1) 指定管理者

コングレ・コンベンション静岡グループ

代表団体 株式会社コングレ

構成団体 特定非営利活動法人コンベンション静岡

### (2) 指定期間

平成 25 年 4 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日まで（6 年間）

## 3 評価項目

### (1) 企画・提案に関する実績評価

- ① 「日本一使いやすい展示施設（キラメッセぬまづ）」の継承・発展
- ② 公の施設に求められる、平等利用、安全面に留意した運営
- ③ 県内外からの積極的な集客
- ④ 地域資源の積極的な活用
- ⑤ 地域の人材育成と活動支援

### (2) 管理運営状況に係る実績評価

- ① 施設の管理運営指標の達成度
- ② 管理・運營業務
- ③ 維持管理業務

## 4 プラサヴェルデ評価懇話会委員

氏名	職業・団体等	備考
中山 勝	一般財団法人企業経営研究所常務理事	座長
渡辺 厚	立教大学観光学部兼任講師	
森口 巳都留	株式会社MICEジャパン代表取締役社長	
鈴木 素子	鈴木素子税理士事務所 所長税理士	
植田 勝智	ファルマバレーセンター所長	
委員計 5 名		

5 評価結果

(1) 項目別評価

	評価項目	評価	講 評
(1) 企画・提案に関する実績評価	①「日本一使いやすい展示施設（キラメッセぬまづ）」の継承・発展	3.9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケートなどから、HPの活用について改善がみられた。</li> <li>・ワンストップサービスの努力は感じられるが、今後は地元サプライヤーの紹介にとどまらず、情報共有・ネットワーク構築による強化を図り、利用者にとってより使いやすい施設を目指すこと。</li> <li>・アドバイザリーボードは早急に設置し、利用者・来訪者にとって使いやすい施設を追求していく場とすること。</li> </ul>
	②公の施設に求められる、平等利用、安全面に留意した運営	3.9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・割引制度等の各種料金設定の効用を継続的に見極め、さらなる対策を講じること。</li> <li>・経理（管理）チーム、営業チームの強化に努め、利用率向上と経営改善を図ること。</li> <li>・営業件数の成否状況を数値化・明示化し、データの精査・分析を通じて、PDCAサイクルの構築を図ること。</li> <li>・市民の憩いの場として、中高年の利用者も多いことから、AED使用等の研修や施設のユニバーサル対策も実施すること。</li> </ul>
	③県内外からの積極的な集客	3.5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・域内の経済効果を高めるため、地域外からの集客を積極的に図ること。</li> <li>・自主事業を継続し、集客できるイベントに育てること。</li> <li>・静岡県・沼津市におけるMICE誘致の必要性を明確にして、地域の各種協力団体との連携を深めること。</li> <li>・コングレは中部圏（名古屋地区）をターゲットとした地方ブロック大会など大型催事の掘り起こし、地域PCO（プロフェッショナル・コンGRESS・オーガナイザー）であるコンベンション静岡は、地元の主催者・キーマンへの営業強化など、指定管理者の中での役割分担を明確にすること。</li> </ul>
	④地域資源の積極的な活用	3.3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単純に施設のスペックやアクセス性などの広報ではなく、内覧（商談を兼ねた視察イベント）など、広報を兼ねたより積極的な営業を求める。</li> <li>・館内における地元感が薄い。地元の物産の定期市の開催などを望む。</li> <li>・レストラン、カフェについては、メニュー、価格、利用対象者の嗜好を一度調査し、より充実するよう工夫をすること。</li> <li>・自主事業を評価するが、県・市との政策に連動するイベントになるよう期待する。</li> </ul>

	⑤地域の人材育成と活動支援	3.7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・6次産業化の推進など、実施していない項目が見受けられる。</li> <li>・インターン生の受入から、業界への就業につなげて、地元への就職定着に期待する。</li> <li>・地元の若手アーティストを発掘し、芸術文化発表の場を提供した取組については評価したい。</li> <li>・今後は、沼津市、東部地域における文化活動への支援を継続する仕組みやテーマなどを築きあげて、施設の利用に結びつけてほしい。</li> </ul>
	評価項目	評価	講評
(2) 管理運営状況に係る実績評価	①施設の管理運営指標の達成度	3.7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・来場者数については、数値目標を達成していると判断する。今後は、県外・域外からの集客割合も増やす工夫をしてほしい。</li> <li>・ホール稼働率が前年度より低下しており、ホールの需要喚起が最大の課題である。また、市民ギャラリーの稼働率は上昇しているがまだ評価できる稼働状況ではない。</li> <li>・会社の創業記念式典や興行的催事の誘致など、新たな顧客の獲得に向けて、提案型の営業を検討すること。</li> </ul>
	②管理・運營業務	3.9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・営業部門強化とテクニカルスタッフ（サービス）の外注化については評価する。</li> <li>・人材定着の努力と、利用者に厚いサービスを提供できるベテランスタッフ（コンシェルジュ人材）への育成を求めたい。</li> <li>・収入の大きいホール利用について、県・市と連携した大規模催事獲得への戦略を求める。</li> <li>・利用者サービスの向上度合がわかるように、みえる化・数値化、時系列表示などを図ること。</li> <li>・安全管理に関する目標は達成していると判断する。引き続き、緊張感のある現場管理を維持すること。</li> </ul>
	③維持管理業務	3.8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設開放に伴う市民利用によるトラブルの未然防止のため、引き続き丁寧な対応をお願いしたい。</li> <li>・外構や屋上の植栽管理については、施設管理のバロメーターと考えている。やや手入れが行き届いていない箇所があるので、早急に改善すること。</li> <li>・備品管理台帳の管理、チェックを行い、現物との突合を忘れずに実施すること。</li> </ul>

(2) 総括

項目	評価	講評
総括	3.7	平成 27 年度指定管理業務における実績は、「よく実施した」と判断する。

参考

評価点	評価基準
4.5～5.0	大変よく実施した
3.5～4.4	よく実施した
2.5～3.4	おおむね実施した
1.5～2.4	不十分な実施だった
1.0～1.4	実施しなかった

(3) 付記意見

当初設計では把握できていなかった市民や催事主催者などの施設利用者ニーズを的確に捉えて、施設の改善につなげていけるよう、県、市、指定管理者の連携を期待する。